

12NJ参加 感想文

東京第41隊・副長 大石 一

絶え間なく降る雨、長靴に、カッパにまとわりつく泥、凹凸斜面の狭いテント。

12NJの幕開けだ。

12時間前に八王子を発ったスカウトたち。数回の集会を経て、仲間になりかかった者たちの話し声とともに、今、この地におり立った。

雨のキャンプに慣れてるつもりでも、今回は頭にくるほど大変だった。やる気もそげた。

しかし、スカウトたちは、毎日、毎日、3Kmほどの道のりを、1往復、2往復しながら、パイオニア章を目指した。最悪のコンディションにもかかわらず、喜々とした顔、テントの中の笑い声、"まだまだ元気"と胸をなでおろす。

「またジャンボリーのような集いがあったら来たいか?」

「来たい!」と中1のスカウトが笑顔で答えた。

苦勞が報われたと感じ、とてもうれしかった。

最後の晩は、真夏の耐寒キャンプそのものであった。

森吉の森は、おみやげに"風邪"をくれた。

帰りのバスの静寂は彼らの奮闘ぶりを物語り、目ざめてからの笑い声、はしゃぎ声は、真の仲間を物語っていた。

彼らが、これからのボーイ・シニアの行事で顔を合わせた時、きっと「雨・泥・斜面のテント」を口にするだろう。本当の友として。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

12NJ感想文

山崎 一成(上級班長・高2)

私は、ジャンボリー初参加だったので、行く前は不安でいっぱいでした。又、秋田はツツガ虫病という恐ろしい病気を持った、ツツガ虫がいるらしく、その事も不安の一要因でありました。そんなこんなで、会場に着くと雨。雨の中の設営となり、私のジャンボリーは始まりました。その日は設営以外これと言った作業は無く、気になったのは雨だけでした。

2日目、降り続く雨で地面は泥だらけ、ぬかるんでいる。雨は、時々降っただけで1日目程ではなかった。その雨も開会式中は降らずに、よい開会式を見ることが出来た。開会式は、地元の人々の伝統芸能を中心に、歌など盛り沢山の内容。しかし、開会式は良かったのだけれども、サイトから会場までの行き帰りが大変だった。時間にして45分、登り下りのある道を、横をギリギリで通過するバスを気にしながら、高速道路の帰省ラッシュの渋滞のように進む。距離は約2Km。又、同時に3万人近い人々が移動するので、迷子の危険大。隊付と2人で引率していったけれども、大変だった。

3日目。陣馬隊オリジナルTシャツ作りに専念。し

かし眠い。集中できない。この日、スカウトは、場外プログラムへ参加、とても楽しかったとの事、自分も現役のころに参加したかったと思った。午後、自分は千人隊の友人と共に場内を旅した。場内では、スカウト用の別のプログラムが多々あり、楽しそうな所、人が寄ってこない所、いろいろあった。我々のサイトのプログラムは、あまり人がいなかったように見えた。

4日目午前はスカウト全員、場内プログラムに出ていた。自分は、Tシャツを販売していた。午後、ジャンボリー大集会有り、例の会場まで移動。歌に音楽に皇太子殿下に。盛大にとりおこなわれた。つくづくスカウト時代に来たかった。

飛んで5日目夜、他隊との交流会。あいにく雨の中での交流会となった。自分は、「宇宙人よこい」を出し物として行ない、残りのメンバー4人で「アフリカダンス」を行なった。他隊の人は、「TIRO」ともう一つはよくわからなかった。寸劇のようだった。

6日目、Tシャツ完売いたし、良かった。そして夜、閉会式。どしゃぶりの

雨の中移動。今回は自分一人の引率だったので不安でいっぱいだった。辺りが薄暗くなり、真っ暗になった。不安の中、迷子続出、寒さを訴える者続出。さらに迷子をさがすために出した人も迷子。無線のやりとりで、隊付に会場まで来ていただき、千人隊の方と一緒に帰路についた。会場を出る寸前の所で花火が打ち上げられ、それはそれは見事だった。まるで、旧日本海軍連合艦隊による一斉射撃のようだった。しかし花火が終わると、又、心配になる。そこから先は真っ暗な夜道で、懐中電灯が唯一のたのみ。道を間違えたら大変。人もうようよい。それに、どうも自分は、暗いのが苦手です。

やっとの事でサイトに着いたらスカウトの数が足りない。少しびっくりしたが、先に着いた者がいたとの事。そして辺りを見れば、本部テントのマーキーは無く、備品のほとんど片付いていた。自分以外の指導者の方が、全部やってくれていた。雨の中の片付けは、本当に大変。特にマーキーは大変だったと思う。一段落付いて寝る仕度にかかる。現在、12時30分をまわった。明日の起床は午前3時半。

最終日、3時半起床。まだ暗い。それに、夏だというのに、とても寒い。されど、ぐずぐずしている暇はない。頭と体のエンジンをかけるのに時間がかかってしまったため、開始が少し遅くなってしまった。少し焦る。空が明るくなるにつれて、撤収作業も終わりに近づいた。撤収が終わり朝食。無理矢理、胃につめこむ。ゴミ拾いをしてバス乗り場へ移動。又、トラブル有り。そのトラブルも解決、予定通り8時にバスに乗り込み出発。八王子へ向かう。

本当に良い経験をさせていただきました。失敗もありました。ご迷惑もおかけいたしました。今後ともよろしく願いいたします。

最後に、やっぱり現役の頃行きたかった。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

ジャンボリーの思い出

横倉 徹(シェパード班・班長・1級・中3)

ジャンボリーに行って、いろいろな体験をした。今年のジャンボリーは、雨が多く自分達のテントがびしょびしょになり、犬班のテントで寝ていた人は、夜中に移動したようで、朝になってテントを見たら、水が5センチ位あり、とてもおどろいた。

選択プログラムなどでは、パイオニア賞を獲得するために一生懸命スタンプを集めて、最終日には、ちゃんとパイオニア賞をもらった。

それから、特に印象に残っているのは、ジャンボリー大集会だった。ぼく達は、東京音頭を3分ほど踊るのに約3時間も待ったのには、疲れていたぼくには、とてもつらい事だった。しかし、皇太子を近くで見れたのは、運がよかった。

ぼくは、ジャンボリーでつらい事の方が思い出になっている。でも、つらくても、もう一度、ジャンボリーに行って、今度は、ちがう体験をしてみたい。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

12回ジャンボリーを終えての感想

藤原 崇寛(シェパード班・2級・中1)

ぼくは、12回ジャンボリーを終えて思ったことは、自然を大切にしてくださいと自然をふやすということをしなくてはならないと分かった。

まず、秋田につき、思ったことはバツタ(虫)が多い(とても)ということが分かった。さらにゴミがあまりおちていないということが分かった。

テントをかたづける時にはゴミがたくさんでた。このときはなにも考えていなかったが、家にかえり感想文をかいている時には「あのままもし住みついたら秋田がゴミでうもれてしまう。」と思った。

そしてぼくが見たところ、自然にかえすものは石けん・シャンプーなどがあつた。こういうものがどんどん発明されれば地球の自然も守られると思うからどんどん発明されたいと思う。

ジャンボリーに行つての感想は、雨ばかりで、とても寒くつらかつたけれどとてもたのしかつた。また行きたいと思う。(イベントもたのしかつた。)

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

第12回日本ジャンボリー参加感想文

向坂 洋一郎(シェパード班・2級・小6)

秋田に着いたばかりの時、雨が降つてきてとてもいやでした。会場に着く前に雨具の中まで雨がしみてきて、おまけに足のうらが黄色くはれて、

『これで行けるかよ!』と思った。

最初にテントを立てたところに水が流れてきて、水がテントの中にしみてきて、それでテントを移した。

けっこう知り合いができた。ボーイスカウトよりもガールスカウトのほうが、2倍友達ができた。

本物の小熊に、さわられて嬉しかつた。ハクセイとは感触が違つていた。ハクセイの方が毛がツルツルしてつた。

1週間、歩いて歩いて歩いて、疲れたときもあつたけど、楽しかつた!!!!

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ 感想文

馬場 達也(シェパード班・2級・小6)

ジャンボリーはきびしいときいてたけど、思つてたよりもきびしかつた。

なんていつたつて1日目から雨で、その中でせつ営をしたからです。

2日目はくもりで、雨がぱらぱら少しふつてたけど、本降りじゃなくてよかつたです。

3日目開会式の日、この日ははれで、開会式もぶじにおわつた。

4日目場外プログラムの日、北欧の杜ゾーンはすごく広くてあるくのがたいへんでした。

5日目ジャンボリー大集会のとき天皇のこうたいしがきたけど、遠くてよく見えなかつた。

6日目選択プログラムさいごの日だつたけど、この夜、大雨で雨水がテントの中に入つてきてしまいました。

7日目この夜閉会式があつたけど、その中でも雨がたくさんふつていて、服がぬれてしまいました。この1週間さいしょは長いと思つてたけど、雨やなにやらいろいろあつて、あつという間の1週間でした。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

秋田県・森吉山麓で行われた日本ジャンボリーにて

平出 大輔(シェパード班・次長・2級・中2)

8月1日4時 八王子市役所集合



みんな集まつて出発セレモニーをして5時ごろ出発しました。

バスの中で友達と秋田県まで約半日ぐらひかけて行くのかなどと会話がはずみました。

途中でコーラがくばられたので飲みながら話をしていました。けっこう時間がたつて消灯の時間がきました。明日は4時半起床といわれ、あわてて寝ました。

朝起きると、辺り一面が田んぼでした。

すごいなかだなど思いました。

そのままジャンボリー会場まで行き、ぼくたちの5SCまでバスで行きました。その日の天候はあいにくの雨で地面がぐちゃぐちゃしてつて初日から靴がぬれてしまいました。

まずコンテナに隊備品を取りに行きました。



次にテントなどをたてて荷物をテントにいれました。

この日はつかれていたのでも早く寝ました。

まず朝、昼、晩のご飯を本部に取りに行った。

この日は特にやる事がなかったが、アリーナまで歩いて行った。

この日もぐっすり眠れた。

次の日、この日は開会式という大きな行事があった。

3時半ごろサイトを出発、だいたい4時ごろアリーナについた。

陣取りをして少し時間があいた。

その間に我ら10団の3人と新倉隊付がナンパに行ってしまった。もう開会式どころではない。みんながガールの方を向いていた。

ナンパを見ているうちに終わってしまったような感じだった。

帰って食事を取って寝た。

次の日、今日は場外プログラムに行った。

バスケットボールとスポーツカイトをやった。

スポーツカイトが楽しくずっとやっていた。

この日はとても楽しい一日だった。

この日もぐっすり眠れた。

次の日、この日は大集会があります。

皇太子様が来ると聞いたので楽しみにしていました。

朝はサブキャンプトレイルに行き昼に帰って来ました。

昼からは大集会です。

この集会もよくわからないまま進んで行き、皇太子様の話になりみんなしんげんに聞いていました。

上の席に来ました。ぼくたちの所も通るかと思っていたけど、少し下の部分で止まってしまいました。

次の日は選択プログラムだったので早めに寝ました。

次の日、キャップハンディに行きました。

点字や手話、車いすに乗ったり、ふだんはできないようなことをしました。帰りは売店に寄って帰りました。

この日の夜、神奈川県の人たちと交流会をしました。

でもすごい雨が降ってきて早めに打ち切りとなりました。

テントにもどって雨対策をして寝ました。

次の日もどしゃぶりの大雨でした。昼には一時やんでいましたが、閉会式の時にふり出しました。会場についてもやみません。閉会式が始まり、途中で寒くておちついて見ていられなくなりました。9時半ごろ帰りました。途中で立ちながら寝てしまい、迷子になってしまいました。だから一人で本部まで帰りました。

本部につくと人がいました。

その人にきいてみるとやっぱり歩きながら寝てしまったそうです。

次の日の起床が3時半だときいて早く寝ました。

次の日まだ辺りが暗いうちに起きて撤営を開始しました。

朝食をとってバスをまちました。8時半ごろバスが到着して乗りこみ、あとは帰るだけかと安心して寝ました。

昼を食べてからは八王子につくまで友達と話をしていました。

市役所に少し早めにつきました。

父がきていたので車で帰りました。

介護章がとれてよかったです。

花火もいっぱいみれたし楽しい思い出になりました。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★
第12回ジャンボリー感想文

中川 和彦(つばめ班・2級・中1)

雨に降られてしまった、第12回ジャンボリーでしたが、とてもいい思い出のできたジャンボリーでした。ぼくは、第12回ジャンボリーでプレススカウトをしました。最初は、どういふことをすればいいかわかりませんでした。やってみると、とてもおもしろい役目でした。みんなが、アリーナに移動中に、別行動でFMラジオ局に行ったり、写真をとったりして、とてもおもしろかったです。

中間の選択プログラムでは、バスケットとスポーツカイトと、ネッカリング作りをしました。ネッカリング作りでは、将棋ごまのネッカリングを作りました。



最終日に、神奈川第28隊と交流会をしている時に、スタンツで上級班長たちが、「宇宙人よ来い!」と、やり終わると、大雨になって、ちょっと残念でした。

でも今回の日本ジャンボリーのおかげでいろいろなことが体験できました。全国から同じ仲間が集まって生活できたこと、でも森吉が晴れていたならもっとちがったジャンボリーになったのではないかなと思うと、ちょっと残念です。でも、自分にとっては、とてもいい思い出ができました。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

ジャンボリーのかんそう

浅野 和仁(つばめ班・2級・小6)

雨や風が多くてたいへんだった。

でもいろんなゲームをやったりいろいろな人にもあったからたのしかった。

たべものもおいしかったです。きりたんぼはちょびちょびたべるとおいしかった。

外国の人もいっぱいいた。

テントの中でもよくねむれた。

トイレもよそうよりはよかった。

いろいろなゲームをやればスタンプをおしてくれて、ぼくは8個おしてもらった。気球にのれなかったのがざんねんだった。あとはよかった。

へいかいしきのはなびがすごくきれいだった。ぼくはへいかいしきでまいごになった。歩いているとどけとかカスとか言われてしまった。ぶじについたときはほっとした。

かえりのバスはたのしかった。

ジャンボリーはいい思い出になった。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

ジャンボリーかんそうぶん

宮澤 祐一(つばめ班・2級・小6)

秋田の森吉っていうところについて、みんなでテントをたてたりした。

2日めは雨が降ったりやんだりだった。くつがいっきにびしょびしょになった。

3日めの朝、雨がふっていていやだった。でもがんばないと、パイオニアしょうがとれないからがんばった。

4日め、やっとはれたと思ったら雨が降った。でも山のほうだけ雨が降っていた。バスで町のほうまでいったら雨は降ってなかった。

5日めは、たしかじょうないプログラムだったから、じょうないのプログラムはちょっとしかできなかった。

6日めは、5日めに行こうとしてたところに行けなかったから一番に行った。そして、だれもいなかったからうれしかった。でもすごくまった。でもできたからよかった。

6日めの夜が一番心にのこった。テントに水がいっぱいはいってきた。フク長に「カップきたままねろ」って言われたからカップきたままねた。でもぼくはむれた。(じょうはんしん)すごくつめたかった。それでもものすごくひどくなったからフク長に言ったら大きい家みたいなかたちのところねた。

7日めは2番めに心にのこった。5時からアリーナで閉会式をやった。花火も見た。テントにもどってみんなねた。

8日め、かたずけてバスに乗って家にかえった。

おわり

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

第12回日本ジャンボリーに行って

谷内 一英(つばめ班・次長・2級・中2)

出発の日には絶対パイオニア賞を取って帰るつもりで、家を出ました。

次の日、会場である森吉に着きました。

しかし、会場は雨で苦勞しました。

そして、ジャンボリー初日。天気もよく、開会式も無事終わった。

ジャンボリー2日目、北欧の杜ゾーンでワールドゲームズ、タグラグビー、マレットゴルフをして、スタンプを3つ押しもらった。どのゲームも面白かった。

ジャンボリー3日目、サブキャンプトレールで、4SCに行った。ジャンボリー関係の秘密の言葉を探すものや、フリスビー、ベーゴマ、重りを持ち上げてかね(?)をたたくもの等をやった。ジャンボリー大集会に皇太子殿下が来ました。

ジャンボリー4日目、ジャンボリーテーマゾーンで地球開発等に行った。

そして、ジャンボリー最終日、長いようで短い5日間ももう終わり、「これで終わりか」と思った。

ジャンボリーのしめくり、閉会式の最後に、花火が打ち上げられた。

その次の日は、夜が明ける前から撤営開始。そして、隊の荷物を全部コンテナに持って行ったら、バスが遅れたらしく、出発まで時間がかかりました。

でも、パイオニア賞も取れたし、とても楽しかったです。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

ジャンボリーの感想

浅野 英佐(白くま班・班長・1級・中2)

ジャンボリーで一番うれしかった事は友達ができたと、前は知らない人だとあまり話すことができなくて仲良くなるのに時間がかかったのに、サイン交換をしているうちに自分からどんどん話せるようになった事です(女の子はまだ苦手ですが、なれてもっと話がしたいです)。東京41隊で10団以外の団で仲良くなった人達から電話番号などをしっかりきいといたので、また何かで集まって遊びたいと思っています。

神奈川28隊との交換会はとても楽しかったです。後から聞いた僕の役名が、

「そらへんのマッコヨ」

ときいたときはショックでしたが、好評だったのでうれしいです。てっきり宇宙人の役かと思ってました。先に聞かなくて良かったと思います。神奈川28隊の人達ともこれからも会えればうれしいと思っています。

ジャンボリーの全体的な感想は、とっても楽しく、食事がおいしかったです。不思議とボーイで出



てくる食事の中にきれいな食べ物が出てきても食べられてしまうんです。食べずぎらいだったものも好きになってしまいます。本当は自分達で少くらは作って食べてみたかったです。

今回、最初と最後に雨が降ってしまいとても残念ですが、たいしたケガもなくよかったです。隊長達にはもちろん班のみんなにもたくさん助けられました。次回こられるかわかりませんが、絶対にきたいです。隊付や上班として第13回日本ジャンボリーにこられればうれしいです。

本当にありがとうございました。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

ジャンボリーの感想文

原岡 和幸(白くま班・1級・中1)

僕がジャンボリーで特に心に残ったのは、閉会式です。



閉会式の時、僕は激しく睡魔におそわれていた。

だれがなにをしゃべっているのか解からず、ただひたすらに、睡魔とたたかっていた。

うつら、うつら、・・・はっ。これをくり返していました。

そして、上班が、「帰るぞ!!」

と言った時、心の中で、うおっしゃー、とさけんでいました。

そして帰り途中のトイレ休憩の時、ぼーとしていると、不意に、後からドーン、という音がしたと思うと、わーっとわきおこるかん声。なんだと思ひふり返ると、そこには次々と打ち出される花火がありました。この次々と上がる火のきらめきに、しばし目をうばわれ、眠気もいっぺんにふきとびました。わずかに数分で終わってしまいましたが、すぐそばで見た花火はとても感動しました。

しかし、帰る時には、ほとんど眠りながら歩いていました・・・。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

第12回日本ジャンボリーの感想文

橋本 貴之(白くま班・2級・中1)

僕は4年に一度しかない日本ジャンボリーがとても楽しみだった。ついに出発の日がやってきた。そしてバスに乗り秋田へ向かい、着いたらあいにくの雨で最悪だった。テントサイトへ着いても雨で地面がぐじゃぐじゃで、テントをたてたりするのにもものすごく時間がかかった。

話はかわり、バイオニア賞はどんな物か不思議だった。たぶん特しゅう賞かなと思ったら大ハズレ。かもくをクリアすればもらえる、努力賞みたいに記念品がでるのだった。

3日目、今日は開会式、27,000人のスカウトが集

合する。内閣総理大臣の小ぶちさんも来るから楽しみにしていたら期待ハズレ、忙しくて来れなくてかわりに代理の人がきたのであった。少しガッカリした。

いつだか忘れたけど、夏の夜店で外人さんとあいさつやサインもらったりできてとてもよかった。

そしてあっという間に7日間がすぎてこの森吉と別れる日がやってきた。印象に残っていることは27,000人というのはとてつもなくすごい人の量だと思った。

それにこのジャンボリー思い出に印象深く残るだろう。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

ジャンボリーの感想

橋本 卓幸(白くま班・2級・小6)

ぼくは最初、ジャンボリーへ行くと聞いたら「やだなあ」と思ったけど、実さい行ってみたらけっこうたのしく、ご飯もしどう者がしてくれるので「けっこういいじゃんの」と思った。だけどご飯の後片づけもしどう者がしてくれるのかと思ったら自分たちがすると言うのでそこところは「ちょっといやだなあ」と思った。だけどほとんど遊びだし、ふつうのキャンプよりはすごくらくだった。また、1週間という長い期間のキャンプはたいけんしたことなのでちょっとドキドキしました。あと、みんなは

「早く帰りたい。早く帰りたい。」とうるさいほど言ってたけど、ぼくはそんな帰りたいたとは思いませんでした。だけど、と中から、親とか、家がこいしくなるとはじめて「帰りたい。」と思いました。

あと、1日1回は外に行き歩き回るのでめちゃめちゃつかれました。だから夜は毎日ぐっすりねれました。そんな日がいく日か続いてやっと帰れる日、ぼくはるんるん気分バスに乗り、家に帰りました。あと市役所について1週間ぶりに家族と会ったときすごくうれしくてうれし涙が出ました。

そういうことでつらくおもしろい1週がすぎて、そういうことからこれからがんばってボーイを続けようと思います。ジャンボリーの間ありがとうございました。

以上です。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

ジャンボリー最高

笹 大地(白くま班・次長・2級・中2)

ジャンボリーは一言で言い表わせばこの題名のとおり「ジャンボリー最高」といった感じでした。しかし何事も短縮せずそのまま書き、描写してゆくとこのようになりました。

8月1日 曇/雨

ぼくはジャンボリー会場いや、バスに乗る前から母親のいなくなった迷子のようにそわそわ、そわそわとしていました。バスに乗車するときにはバスが輝いて見えました。

続々と仲の良い友達の笑顔が乗り込んでいきました。そしてバスが出発しもちろんみんなもう大騒

ぎ。自分の靴がどこの誰の席にあるのか分からないほどでした。みんなジャンボリーについての疑問がいっぱいありましたが、それよりなによりみんな口々に

「明日雨降ったらまじ、最悪だな」
と言いながら夜中の12時頃ぼつぼつと降り始めましたが皆、
「どうせ、やむ、やむ」
しかしそんなうまく行きませんでした。

8月2日 雨/晴

朝4時半に起き外を見ると雨・・・。

「雨かよ」
「ちっとまってよう」
「てゆうか、まじで」
などなどいろんな所で聞こえてきました。自分自身も実際今日の設営どうなるんだよと思いました。キャンプ場の5SCに着いたことはとてもうれしかったけど、外の様子を見るとそのうれしさも半減してしまいました。
バスから降りるとまるで僕達が降りるのをずっと待っていたかのようにいきなり勢い良く雨が一層降ってきたように見えました。僕達は重い、重い荷物を背負って自分達がこれから1週間供にする敷地は初めて見たからそう思ったのかも知れないけれど、不便な所だなどと思いました。

そして設営開始。みんな
「寒い」
「手の先が動かなくなってきた」
などと弱気でしたが、何とかテントもちゃんと立ち、とりあえず安心して中で4,50分休むと、今度は雨がテントを張り終えるのを待っていたかのようにパッと太陽が現れて晴天になりました。なんでだよと思ったのは僕だけではないと思いました。その日の夕食はちょっと疲れたせいかととてもおいしかったです。

8月3日 曇/晴/雨(少)

この日午前中はひまだったけれども、午後4時30分からは音の高いファンファーレから日本ジャンボリーの正式な始まり開会式が目の前でやっていました。こんなにいっぱい周りを見わたせばボーイスカウトがいるんだなあとびっくりしました。また日本全国のボーイがここに集結していると思うとちょっと不思議な感じもしました。アナウンサーの人が世界の日本ジャンボリーに集結している外国の名前の多さには顔がひっぱられるような気がしました。ガールが前を通る時にはいろいろな所から

「うおおおおお」
「イヤエーーーー」
と非常に盛り上がっている姿を観察することができました。そしてテントサイトに戻ってびっくり、A君のガイドブックの中にはガール、ガール、ガールの名前と住所がずらあありと並んでいました。みんな
「お前なんでこんなに集められたんだ」
「おれにこれ500円で売ってくれ」
とこんなことまで考えているやつや、
「今日から一緒に行動しようぜ」

とまあその日の一面記事に
「A君ガイドブックをガールで埋める」
と書いていい程大変なにぎわいでした。

8月4日 晴

今日は朝早くから起きて半分目が閉じたまま来る前からずっと期待していた、選択プログラムでした。今日は北方の森ということでガイドブックを眺めてみると、そこには、フィールドアーチェリー、熱気球、タグラグビーなどなど興味あるものてんこ盛りといった内容だったので最初の期待とこれを見たときの期待が合わさって期待²といった感じでした。

バス乗り場で30分程待っている間、ちょうど前にいた神奈川県の人と楽しい話をしながら意気投合してこれこそジャンボリーだなあとまあ一人でちょっと感動していました。バスに乗って3,4分はみんなの声かけっこう聞こえたけど、その後はいろんな所からいかにも寝不足ですと訴えるようないびきが聞こえました。北欧の杜に着きバスから降りてひとたび後を振り返ればそこは緑がずらっとずっと奥の方まで続いていました。みんなそれを見て
「すげえ広ええ」
「めっちゃめっちゃ広いやん」
とまあ自分も呆然としてしまいました。



とりあえずみんな2つはスタンプがほしかったので一番すいている所へと向かいました。そこは「ワールドゲームズ」という所で、新しい体験をしました。それは釣りざおのさきっぽに鉛がついた物でそれをダーツの的のようなところにキャスティングするというものでした。一回目投げると真っ下に落ち、みんな
「アハハハハハハ」
と爆笑していました。何回かやっているうちにたまに的に当たるようになってみんな次々に
「当たった。イエー」
と叫んでうれしがっていました。周りから見たらくだらないゲームと解釈されてしまうかもしれないけれど、やるとすっごく楽しい物です。

それが終わると一番左の隅の方にぼつんととっても寂しそうな所が1ヵ所あり、でっかいテントの所に旗が

「タグラグビー」
と書いてあり、誰もいねえとみんな思い笑いながら近寄ってルール説明を聞いてほっとしました。それは普通のラグビーのようにタックルはしてはいけないくてタグというお札のようなものをたらさげて(ボーイ隊のネッカチーフを尾っぽにしたような物)それをとり

「タグ」
というとボールを持っている人がパスしなければならぬというものでしたので、巨人の肉体を持った

貝野さん(君)や筋トレ大好きの浅野君に倒されることはないということになったからです。やって結果は結局負けてしまいましたが、この後この競技はスタンプを取るものでは一番おもしろかったものとなりました。気づいたら汗だくだくでこれこそいい汗をかいたといった快感でした。

その後「ポグバレット」といったまさしく丸太をゴルフにしたようなことをやり、くったくったの体でバスに乗り帰り、疲れているのにもかかわらずみんな一生懸命はしゃいでぐっすり寝ました。

8月5日 雨/晴

この日の最大のイベントといえばやっぱりジャンボリー大集会でした。僕達は10時半に東京音頭を踊るために出かけました。待っている時間が今風と言うとちょー暑ちいちょと昔風に言うると照りつける太陽が非常に強いえーものとなってきましたといった猛暑でした。動きだしたと思えばまた止まりの繰り返しでした。そしてやっと会場のド真中に立つことができ周りを眺めると大勢のスカウトがこっちを真剣にまた熱い視線で見ました。それにこたえようと東京音頭が流れだすと一生懸命踊りました。最後には盛大な拍手でやってよかったという気分になりました。思わず飛びはねながら二人で「おうしゃー」と叫んでしまいました。またこの日は第4SCで屋台村をやっている、行って踊りまくりました。

8月6日 晴時々雨

この日は最後のスタンプの取れる日なので、よしめちゃめちゃ遊んでやるぞと思いました。うちの班が行ったのはデジカメ教室で、デジタルカメラで



いっぱい、いっぱい不良のマネをした写真やおもしろおかしく撮った写真や集合写真などいろいろ撮った結果、やっぱり集合写真ということで出したら題をつけてくださいといわれたので名付けてわけのわからない

「傷害保険」

と付け、テントサイトへ速攻で帰ってきました。ここでもらったチキンラーメンを食べそこでボーイ隊にもかかわらずみんな髪の毛を赤く、紫に染め始めました。まあこれは陣馬隊らしいと思いました。そのあと5SCの中にあるサブキャンプトレイルの箱を積み上げるやつでみんな

「危ねえ、危ねえ、やべ」

と言いながらがんばると最高新記録が出ました。

そして夜、神奈川28隊の方に行き、ある意味コント的なものをやりました。それは恒例の

「宇宙人よ来い、宇宙人よ来い」

です。しかも今回は豪華全八先生バージョンでした。これはやっている自分も笑いたくなりました。周りの反応もまあまあと好調でした。

しかしこれも途中で大雨が降り出し、僕はよりに

よってこんな時にと思いました。みんなテントに避難し楽しく会話を進めながら、あまりにも大雨なので陣馬隊は退却しました。急いで寝ました。あした閉会式です。

8月7日 雨

朝起きると横には水溜まりができていてびっくりしました。僕達のテントはまだ良い方で、他のテントでは2~3cm浸水している所があると聞いてびっくらこきました。でもそれより重大なのは閉会式。式場へ向かう時などはこれでジャンボリーも終わりがとびっくりとしました。しかし見ている途中雨が降り出し、帰らなくてはならないということになってしまい、ちょうどトイレの所で

「ジョーバーンガラガラガラ」

と大きな花火が天高く舞い上がりました。まさに感動のフィナーレといった感じでした。思わず

「あーあっ」

とため息をついてしまいました。

8月8日 晴/雨

そしていよいよジャンボリー会場を立ちさらなくてはならない時間になってしまいました。ほんと悲しい気持ちがいっぱいでした。しかしそんな気持ちで立ちさるのは嫌だからいっぱいはしゃぎながら八王子市役所に着きました。

僕はこのジャンボリーは一生物だと家につき夜寝る前思いました。でもやっぱり一番の思い出は友達だと思いました。ジャンボリーと書いて友達と読みたい気分です。

「ジャンボリー ジャンボリー 日本ジャンボリー」

といつまでも胸に響きます。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★
☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★